

Wani light 2



WoodyValleyパラグライダーハーネスは3年間保証付きです！！

ウッディーバレーハーネスについてカスタマー情報を Web にてご登録していただいたお客様に、3年間保証をさせていただきます。

保証内容 * 通常使用による保証期間 : 3年
(パーツ代や交換品については実費となります)

保障対象外パーツ(下記のパーツ及び部分については保証外・実費修理となります。)

- * ポッドハーネスのつま先部分(地面との摩耗部分)
- * ネオプレーンゴム部分
- * ジッパー
- * ハーネス本体以外の部品(カラビナ・プロテクション・成形用板・フットバー・座板 等)

修理に際しての往復送料については、お客様負担とさせていただきます。

ハーネスラベルの記載情報

ハーネスのコンテナ内部に製造情報を記載したシルバーラベルがあります。

DATA CONTAINED ON THE HARNESS LABELS

Manufacturer information

製造者情報

Reseller-distributor information

販売店情報

Date of sale of the harness

販売日付

WOODY VALLEY srl
Via Vienna 92, 38121 Trento, TN, ITALY
www.woodyvalley.eu

Dieses Luftsportgerät wurde gemäß den rechtlichen Vorschriften stück geprüft.
Es stimmt mit dem geprüften Muster überein und ist Lufttüchtig.

This airsport equipment has been checked for conformity with the legal regulations. It complies with the examined sample and is airworthy.

Stückprüfung durch:
Checked by:

Datum der Stückprüfung:
Date of conformity check:

Vor Gebrauch Betriebsanweisung lesen! - Read manual before use!

Harness name

ハーネス名称

Approval code

認証コード

Reference standard for harness certification

認証基準類別

Barcode Serial number

バーコード

シリアルナンバー

Approved load
認証荷重

Production batch
製造ロット

Size
サイズ

Gurtzeug für Gleitsegel:
Harness for paragliders:

Nummer der Musterprüfung:
Testregulation/Standards:


Nachgewiesene Normen und Verfahren:
Certified standards and procedures: Lufttüchtigkeitsforderungen LTF 91/09 EN1851:2015

Maximale Anhängelast:
Maximum load:

Produktionscharge:
Lot of production:

Größe:
Size:

SERIAL NUMBER



認証試験機関エアターコイズ社の認証状

AIR TURQUOISE SA | PARA-TEST.COM
Route du Pré-au-Combe 8 • CH-1804 Villeneuve • +41 (0)21 965 65 65
Test laboratory for paragliders, paraglider harnesses and paraglider reserve parachutes



AIR TURQUOISE SA | PARA-TEST.COM
Route du Pré-au-Combe 8 • CH-1804 Villeneuve • +41 (0)21 965 65 65
Test laboratory for paragliders, paraglider harnesses and paraglider reserve parachutes



Harness inspection certificate


Inspection certificate number: PH_286.2019 Impact pad number: PH_286.2019

Manufacturer data	
Manufacturer name:	Woody Valley srl
Representative:	Simone Caldana
Street:	Via Vienna 92
Post code / place:	38121 Trento
Country:	Italy

Sample data:		Harness		Impact pad	
Name:	Wani Light 2	Name Impact pad ⁽¹⁾ :	n/a	Name Impact pad ⁽¹⁾ :	n/a
Type:	ABS	Impact pad integrated ⁽¹⁾ :	Yes	Impact pad integrated ⁽¹⁾ :	Yes
Size:	M	Impact pad type:	Airbag	Impact pad type:	Airbag
Weight of Sample [kg]:	2.94	Weight of Sample [kg] ⁽¹⁾ :	n/a	Weight of Sample [kg] ⁽¹⁾ :	n/a
Serial number:	096 0014 0002	Serial number ⁽¹⁾ :	n/a	Serial number ⁽¹⁾ :	n/a
Clip-in weight [kg]:	120	Date of reception:	17.09.2019	Date of reception:	17.09.2019
Integrated container for rescue system:	Yes				
Volume container [cm ³]:	5000 max n/a min				
Date of reception:	17.09.2019				

Test report summary		Structural test		Impact pad test	
Result:	POSITIVE	Result:	POSITIVE	Result:	POSITIVE
Place:	Villeneuve	Place:	Villeneuve	Place:	Villeneuve
Date:	17.09.2019	Date:	17.09.2019	Date:	17.09.2019

Issue data

Place of declaration: Villeneuve
Date of issue: 22.11.2019
Managing Director: Randi Eriksen
Signature: 

This signature approves the validity of the test reports if available: no. 94.21 (incl. of R032, R036, R039, R10, R102, R103) and no. 94.22 (incl. of P1, P2, P101, P102). Air Turquoise SA, having thoroughly assessed the sample mentioned above, declares it safe for use within all requirements defined by the following norms: European Standard EN1851:2014, and EN1851:2019 chapter 5.3.2

Harness inspection certificate

Inspection certificate number: PH_286.2019 Impact pad number: PH_286.2019

Manufacturer data	
Manufacturer name:	Woody Valley srl
Representative:	Simone Caldana
Street:	Via Vienna 92
Post code / place:	38121 Trento
Country:	Italy

Sample data:		Harness		Impact pad	
Name:	Wani Light 2	Name Impact pad ⁽¹⁾ :	n/a	Name Impact pad ⁽¹⁾ :	n/a
Type:	ABS	Impact pad integrated ⁽¹⁾ :	Yes	Impact pad integrated ⁽¹⁾ :	Yes
Size:	M	Impact pad type:	Airbag	Impact pad type:	Airbag
Weight of Sample [kg]:	2.94	Weight of Sample [kg] ⁽¹⁾ :	n/a	Weight of Sample [kg] ⁽¹⁾ :	n/a
Serial number:	096 0014 0002	Serial number ⁽¹⁾ :	n/a	Serial number ⁽¹⁾ :	n/a
Clip-in weight [kg]:	120	Date of reception:	17.09.2019	Date of reception:	17.09.2019
Integrated container for rescue system:	Yes				
Volume container [cm ³]:	5000 max n/a min				
Date of reception:	17.09.2019				

Test report summary		Structural test		Impact pad test	
Result:	POSITIVE	Result:	POSITIVE	Result:	POSITIVE
Place:	Villeneuve	Place:	Villeneuve	Place:	Villeneuve
Date:	17.09.2019	Date:	17.09.2019	Date:	17.09.2019

Issue data

Place of declaration: Villeneuve
Date of issue: 22.11.2019
Managing Director: Randi Eriksen
Signature: 

This signature approves the validity of the test reports if available: no. 94.21 (incl. of R032, R036, R039, R10, R102, R103) and no. 94.22 (incl. of P1, P2, P101, P102). Air Turquoise SA, having thoroughly assessed the sample mentioned above, declares it safe for use within all requirements defined by the following norms: Annex to the Regulations LTF 96, § 9109 chapter 4.2.1, 5, 6.1.1 and 6.1.8

⁽¹⁾ If impact pad is NOT integrated in the harness, it will have independently inspection number, and serial number. Definition of integrated impact pad is impact pad which can not be distinguished from the harness, e.g. airbag.
Present declaration's scope only extends to the conformity of a given sample, on a given date and in a given place – as mentioned here above.
This inspection certificate contains the following test and is compliant with the test, if available: report 94.21 and 94.22

⁽¹⁾ If impact pad is NOT integrated in the harness, it will have independently inspection number, and serial number. Definition of integrated impact pad is impact pad which can not be distinguished from the harness, e.g. airbag.
Present declaration's scope only extends to the conformity of a given sample, on a given date and in a given place – as mentioned here above.
This inspection certificate contains the following test and is compliant with the test, if available: report 94.21 and 94.22

THANK YOU !

この度はウッディバレー社の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書には重要な内容が記載されていますので、よく読んでください。特に最重要の2点について御注意ください。

緊急パラシュートの装填

あなたは緊急パラシュートによって命を救われるかも知れないのです。それは2日後に起きる事もあり得るし2年後かも知れません。いざと言うときに確実に役立つように取り扱しましょう。

ハーネスの調整

ハーネスはパラグライダーとパイロットをつなげる道具であり、フライトの楽しさと性能を最高に引き出すことのできる大切な存在です。出来の悪いハーネスでも最高の調整がなされていれば良いフライトを楽しむことが出来ます。しかしどんなに良いハーネスでも調整が悪いと飛べたものではないのです。

このハーネスによってパイロットの皆様が、快適に飛び、楽にコントロールし、性能を引き出し、フライトの喜びを存分に味わえるようになることを確信しています。取扱説明書を読むのは退屈な作業かも知れませんが、パラグライダーハーネスは身近な家電製品などとは違います。正しい使用方法を理解していただいて事故のリスクを減らしてください。この取扱説明書には、あなたのハーネスの組立、調整、飛行、収納に必要な情報が全て入っています。自分の装備について漏れのない知識を持つことによって、パイロットの安全と飛行レベルは確実に向上します。

セーフティー ノート～安全に関するお知らせ

ウッディバレー社のパラグライダー機材を購入していただくに当たって、購入者は適切なパイロット技量を認定されたパラグライダーパイロットであることを自ら認め、負傷ないし死亡を含むパラグライダー活動に伴う全ての危険性を引き受けられたものとします。ウッディバレー社のパラグライダー機材の不正確あるいは不適切な使用はこれらの危険性を高めます。いかなる場合においても、ウッディバレー社およびウッディバレー社製品取り扱い店は、ウッディバレー社のパラグライダー機材使用に関連したパイロット本人あるいは第三者の負傷、あるいはいかなるタイプの損失についても、責任を持つものではありません。ウッディバレー社のパラグライダー機材の使用に関してのお尋ねは、まずご購入先かあなたの国の輸入店までお願いいたします。

Woody Valley

危険・警告	
1)	安全に正しくお使いになるために、ご使用前に必ずこの取り扱い説明書を最後までよくお読みになった上で、指示内容を守ってお使い下さい。
2)	本ハーネスはパラグライダー専用ハーネスです。その他の目的で使用しないでください。
3)	本ハーネスは改善等の為、予告なしに仕様・価格等を変更する場合があります。

INDEX

1.	一般情報	5
1. 1	コンセプト	5
1. 2	プロテクションシステムと安全性	5
1. 3	SOSラベル	6
2.	ハーネス使用の前に	6
2. 1	緊急パラシュート	6
2. 1. 1	緊急パラシュートのデプロイメントバッグへの取り付け	6
2. 1. 2	緊急パラシュートのハーネスへの取り付け	7
2. 1. 3	緊急パラシュートの装填	9
2. 1. 4	適応するパラシュート	10
2. 1. 5	緊急パラシュート開傘操作	11
2. 2	ハーネスの調整	12
2. 2. 1	背中調整	13
2. 2. 2	肩ベルトの調整	13
2. 2. 3	胸ベルトの調整	13
2. 2. 4	座板ポジションの調整	14
3.	ワニライト2での飛行	15
3. 1	プレフライトチェック	15
3. 2	ポケット	16
3. 3	キャメルバッグ	17
3. 4	タンデム	18
3. 5	水上でのフライト	18
3. 6	トーイング	18
3. 7	ランディング	18
3. 8	ハーネスの廃棄	18
3. 9	自然環境における活動への注意	18
4.	ハーネスの収納・パラグライダーの入れ方・リュックサックの使用	19
5.	特徴とオプション装備の取り付け	20
5. 1	スピードシステムの取り付けと調整	20
5. 2	リラックスバー	21
5. 3	クイックリリースカラビナ	21
6.	メンテナンスと修理	22
7.	テクニカルデータ	22

1. 一般情報

この取扱説明書は、ワニライト2ハーネスの構成要素であり、将来の参照のために確実に保管してください。

さらにお問い合わせいただく場合は、お買い求めの販売店もしくはウッディーバレー社代理店である(株)スポーツオーパカイトへご連絡ください。

このハーネスをご使用になる前に、この取扱説明書をよく読んでおいてください。

適合性の確認

製造者であるウッディーバレー社は、この製品が UNI EN 1651 - LTF 91-09 基準に適合していることを確認いたします。

この装備に含まれるのは：

- ハーネス
- ポリプロピレン座板（前方は柔軟部分）
- カラビナ2個
- 開傘ハンドル付き専用デプロイメントコンテナ
- 緊急パラシュートコンテナ閉鎖用バンジーループ（予備2個）
- スピードバー

主要オプション：

- リラックスバー
- クイックカラビナ

1. 1 コンセプト

ワニライト2は、ハイク&フライトのカテゴリにおける完璧な品質の製品を目指して設計されています。最新の構造素材とシステム設計によって、わずか 2.8 kg で高性能なフルボディーハーネスを生み出しました。ベルトシステム配置を全面的に再設計し、前モデルに対してさらに精確でスムーズなコントロール性を可能にしました。このことによって、ノービスパイロットからエキスパートまで、全て、胸ベルトの長さの調整で対応できます。

ワニライト2のリバーシブルシステムは、前モデルのワニライトと同じく、リュックサックをエアバッグから独立させてリア コンテナポケットに内蔵しています。このシステムによって、エアバッグとリュックサックの2つの機能をそれぞれ専門に設計する事ができ、機能、見た目の美しさともに大幅な向上を達成しました。

細微にいたる入念な設計によって、ワニライト2はわずか 2.8 kg の重さで通常のハーネスと同じ機能を発揮してくれるのです。

1. 2 プロテクションシステムと安全性

ワニライト2は、前モデルと同じように最初からエアバッグの形状が保たれているだけでなく、新たに前側に空気取り入れ口を設けて、さらに確実に良好なインフレーションを生み出しました。

エアバッグの底辺に挿入されたニチノール合金（高耐性の形状記憶合金）ワイヤーによって、飛行中の完全にふくらんだ状態の60%のプロテクション性能を、常に発揮してくれます。

またインフレーションバルブも全く新しい設計によって、パイロットの脚のポジションがエアバッグ内の空気の流れに影響を与える事を防ぎました。この新バルブは性能向上だけでなく、ハーネスの見た目もとても美しくしています。

ワニライト2では、最も軽量な足ベルト閉め忘れ防止セーフティーシステムであるゲットアップのみの設定となります。

1. 3 SOSラベル

赤字に白文字のとても目立つSOSラベルが、右肩ベルトのパッドのポケットに入っています。このSOSラベルの裏側に、事故の際に救急隊員に必要と思われるパイロットの情報を記入しておくことができます。



2. ハーネス使用の前に

ワニライト2は、そのパイロットを担当しているインストラクターなどの、認証を受けているパラグライダーの専門家によって組み立てられなければなりません。特に緊急パラシュートのハーネスへの装填は、正しく行われるよう、十分な技能と注意が要求されます。そしてハーネスの調整は、適切なパラシュートの装填を受けてから行ってください。



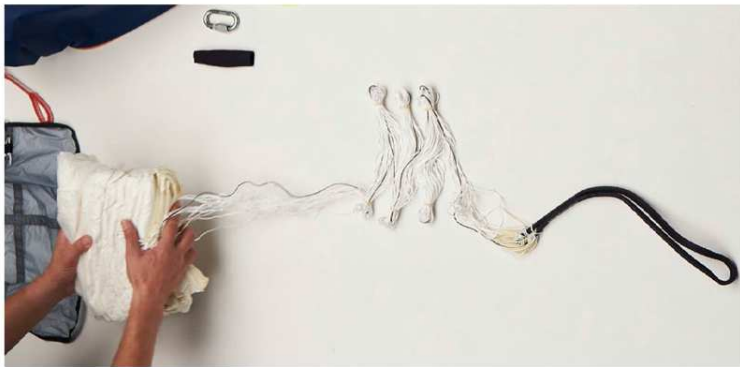
2. 1 緊急パラシュート

緊急パラシュート収納部の最大容量は4.26リットルで、現行世代の軽量パラシュートのほとんどに対応しています。

そのパラシュートコンテナは座板の下にあり、装填システムは新たに全面的に改良されて、前モデルよりさらに大きなパラシュートも収納できるようになりました。この新システムのために、購入時付属品のハンドル付き専用デプロイメントバッグ以外のデプロイメントバッグやパラシュートハンドルは使用できません。

2. 1. 1 緊急パラシュートのデプロイメントバッグへの取り付け

ワニライト2には、ハンドル付きの新型デプロイメントバッグが付属しています。使用する緊急パラシュートをこのデプロイメントバッグの大きさに合うようにたたんで下さい。緊急パラシュートのラインはハンドルと反対側に出るようにたたみなおし、デプロイメントバッグのフラップを閉じて下さい。



注意：

この作業も必ず、そのパイロットを担当しているインストラクターなどの、認証を受けているパラグライダーの専門家のサポートを受けてください。

2. 1. 2 緊急パラシュートのハーネスへの取り付け

緊急パラシュートのブライダルをハーネスのブライダルへ接続するには、3つの方法があります。

接続方法その1

2,400kg以上の破壊強度を持つねじロック型のカラビナ（ラピッドリンク）を使用する方法。この場合、ブライダルに対してカラビナが回って横を向かないよう、ゴムバンドを用いて、ブライダルがずれないように固定します。カラビナのねじロックはしっかりと締め、緩んできて開くことのないようにしてください。この方法は次に述べる方法よりも高い開傘ショックに耐え、最もお勧めできる接続方法です。



接続方法その2

まず緊急パラシュートのブライダルの端のループの中にハーネスのブライダルを通し、つぎに緊急パラシュート本体をこのハーネスのブライダル端の大きなループの中にくぐらせていき、2つのブライダルを引き絞って接続する方法。開傘ショックで合成繊維製のブライダル同士で摩擦が発生して破壊しないよう、



出来るだけしっかりと引き絞ってください。そのうえで、結束部が緩んでこないよう、ハーネス側のブライダルについているベルクロで結束部を縛ってください。

接続方法その3

もしご使用の緊急パラシュートが操縦可能なもので2本ブライダルをもっているか、いずれにしても2本ライザーブライダルを装備しているものでしたら、肩ベルトの近くにあるハーネスのブライダルの付根にある2つのループへ接続することが出来ます。この場合、ハーネスのブライダルは使用しないので、折りたたんで2本のゴムバンドで縛り、パイロットの首の後ろにあるカバーの下に収納してください。



2箇所のブライダル接続にはそれぞれ1,400kg以上の破壊強度を持つねじロック型カラビナ（ラピッドリンク）を使用してください。また、緊急パラシュートのブライダルの長さが、開傘作業での緊急パラシュート引き出し時にも十分な長さを持ち、パラシュートをコンテナから引き出す際にパラシュート本体が先にデプロイメントバッグから引き出されないことがないか、をチェックすることが重要です。

注意：

横方向の異常な荷重負担を避けるため、どちらか1つのループだけでなく、ブライダルは必ず肩ベルトの2つのループへそれぞれ接続してください。また、ブライダルコンテナの中に物品を収納しないで下さい。



2. 1. 3 緊急パラシュートの装填

緊急パラシュートをハーネスのコンテナへ装填するさいは、引き出しハンドルが外側に向いて見えて、ハンドルの黄色いプラスチックピンが下向きになるようにしてください。

ハンドルを所定に位置に付けて、ハンドルに縫い付けられているベルクロがハーネスのベルクロに貼り付いている事を確認してください。後の作業が楽になるように、プラスチックピン留め用の付属のバンジーループの中に細いヒモ（パラグライダーのボトムラインなど）を通しておきます。このヒモとバンジーループを、取り付けられたハンドルの下にある一番小さなハトメ穴に通してください。



ブライダルカバーのジッパースライダーともう1つのコンテナの前側に来るジッパースライダーをハンドルの真下の起点へ持ってきます。ジッパーをそこから左右へ約20cm締めて下さい。以下の写真のとおりコンテナのフラップを閉じます。この作業の際にジッパーが開いてこないよう注意してください。2本の黄色プラスチックピンをバンジーループに通したらフラップのカバーの中へ入れておきます。



上記の作業が終わったらもう一度、中のジッパーが正しく閉じられているか確認して下さい。次に、バンジーリング引き出しに使った細ヒモをはずしますが、このときバンジーを摩擦で傷めないように注意深くゆっくりと引き抜いて行ってください。ジッパーを端まで全て閉じます。ジッパースライダーをそれぞれのジッパーの端のカバーの下に入れておきます。



注意：

その緊急パラシュートとハーネスを組み合わせるのが初めての場合は、必ず公認のハーネスあるいは緊急パラシュートのディーラー、あるいはパラグライダーインストラクターによって、ちゃんと開傘するかどうかを点検してもらってください。チェックはフライトシミュレーターにぶら下がって行います。通常の飛行姿勢からの緊急パラシュートの開傘操作では、何らの支障無くスムーズに行なえなければなりません。パラグライダー用ハーネスおよびその緊急パラシュート開傘システムは、自由落下やそのほか強い衝撃には対応していません。その負荷構造は、パラグライダーで通常に想定されている開傘ショックの基準にもとづいて設計・試験・認定されているからです。

さらにこのことは、通常の開傘ショックに対しても、ハーネスが全く損傷しないという事も意味していません。実際には、事故によって必要となった開傘だけでなく、安全訓練における自発的な開傘においてもハーネスに損傷が発生する場合があります。

2. 1. 4 適応するパラシュート

ワニライト2が対応する緊急パラシュートの最大容積は、5リットルです。

2. 1. 5 緊急パラシュート開傘操作

緊急時にすぐに確実にハンドルを握れるよう、普段のフライト中に定期的にパラシュートハンドルを触ってその位置を憶えておくことはとても重要です。

緊急時の開傘手順は以下の通りです。

- ・ 緊急パラシュートハンドルに手を伸ばして、片手でしっかりと掴む。
- ・ 外側に向かってハンドルを引き、ハーネスコンテナから緊急パラシュートを引き出す。
- ・ 障害物のない空間を確認し、連続した動きで緊急パラシュートをパイロットおよびパラグライダーから離れた方向へ投げる。
- ・ 着地時には、負傷のリスクを出来るだけ減らすために、体を起こしておき、PLF（5点接地パラシュートランディングフォール）が行なえるようにする。



2. 2 ハーネス調整

ワニライト2には背板・胸ベルト・肩ベルトの調整が設定されていて、個々のパイロットに最適なポジションに調整できるようになっています。この調整に少し時間をかけることで、フライト中の快適さが大きく変わってきます。

ワニライト2は出荷時に標準的な体型の調整がすでに施されていますが、パイロットの身長へ対応する調整はできておりません。そこで、初飛行の前に他の調整はそのまま高さの調整だけを行う事をお勧めします。他の調整についてはほとんどのパイロットにとって満足できるものである事がわかっています。なお、全ての調整ベルトに赤い印が付けられていて、これら他の調整を行う際に、いつでもメーカー設定値に戻せるようになっています。



調整作業は、必ず緊急パラシュートを装填してから行なってください。そして、最適な調整を得るためには、適切なシミュレーターからぶら下がり、飛行時と同じ装備・収納品を再現して飛行時と同じ条件・ポジションでチェックしてください。



- | | | |
|--------|---|------------|
| 背板調整 | ① | 2. 2. 1 参照 |
| 肩ベルト調整 | ② | 2. 2. 2 参照 |
| 胸ベルト調整 | ③ | 2. 2. 3 参照 |

2. 2. 1 背中への角度調整

背板の角度調整で、飛行中のパイロットの上体がどれくらい後傾するかが設定できます。



2. 2. 2 肩ベルトの調整

肩ベルト調整によってハーネスをパイロットの身長に合わせていきます。この調整バックルは肩ベルトの上の方にあります。肩ベルトはパイロット上体の重さの一部も支え、居住性に寄与しています。肩ベルトの調整では、肩ベルトがパイロットの肩へピッタリ当たっていて、あたり方が強過ぎたり緩過ぎたりしないようにしてください。



2. 2. 3 胸ベルトの調整

胸ベルトで2つのカラビナ間の距離を調整します。調整幅は36~48 cmです。ワニライト2での初飛行の際は胸ベルトの調整を40 cmくらいにしておく事をお勧めします。そして少しずつ調整してフライト中の好みのポジションを見つけて行ってください。胸ストラップが短くきついほど安定性が高くなります。カラビナ間の距離を広げ過ぎてもパラグライダーの操作性は向上しません。また、狭くし過ぎた場合、非対称つぶれからのツイスト傾向を悪化させる恐れがあります。肩ベルトの端には小さなオレンジプラスチックバックルが付いたベルトがあり、離陸走行時に肩ベルトがパイロットの肩から外れるのを防げます。またベルトの接続バックルが、緊急時に役立つ便利なホイッスルになっています。



注意：

全ての調整は必ず左右均等に行ってください。

2. 2. 4 座板ポジションの調整

この調整で脚と背中がなす角度（座る深さ）を変更します。こうして、それぞれ背中と脚にかかる荷重の配分を最適化して、居住性を向上させることができます。



3. ワニライト2での飛行

3. 1 プレフライトチェック

安全性を最大限確保するために、プレフライトチェックは完全で漏れのない手順で、毎回フライトごとに行なってください。

- ・緊急パラシュートのハンドルが正しい位置に固定されていて、セーフティーピンがしっかりと差し込まれているか。
- ・ポケットやジッパーが開いていないか。
- ・全てのバックルが正しく閉まっているか。
- ・パラグライダーがハーネスに正しく接続されているか。2個のカラビナが本来のロックシステムどおりに正しくロックされ閉じているか。
- ・スピードバーがパラグライダーに正しく取り付けられているか。

気象条件がフライトに適しているかどうかしっかり確認したら、ハーネスを着てください。これは単にゲットアップシステムの脚ベルトの2つのバックルを胸ベルトの左右のバックルにそれぞれ留めるだけです、フライトの安全のために、確実にいき、注意深くチェックしてください。



3. 2 ポケット

ハーネス状態のワニライト2には大容量の背中コンテナがあり、輸送時のリュックサック部が収納できるほか、衣類や給水キャメルバッグも収納できます。さらに両サイドにセーフティループ付でジッパーで綴じられる柔軟メッシュ素材でできたポケットがあります。



リュックサック状態でのワニライト2には、左側に柔軟ライクラ素材のポケットがあり、伸縮式のストックの収納に役立ちます。右側にも柔軟ライクラ素材の便利なポケットがあり、リュックサックを背負った状態でも手が届き、小物入れやボトルホルダーに役立ちます。また、バッグの頂部には、ジッパー付のポケットがあり、その下に衣類など色々なアイテムを外付けしておくのに役立つ万能バンジーロープが付いています。さらにこのバンジーコードのすぐ上に、ジッパー付の小さなポケットがあり、中にヘルメットの収納に使える伸縮性の高いネットが入っています。ヘルメットを外付けすることで、背中コンテナにさらに多くの収納が可能になります。この伸縮ネットは、あらゆるタイプのヘルメットに対応していて、2個のプラスチックバックルでトップのポケットのジッパーを越えたところで固定できます。





3. 3 キャメルバッグ

ワニライト2はハーネス状態でもリュックサック状態でも、給水キャメルバッグ装備の機構を持っています。

ハーネス状態では、背中コンテナの中の専用コンテナポケットにキャメルバッグを入れ、ハーネス左上部にあるプラスチック製の星型穴から給水ホースを出し、写真のように左肩パッドの2箇所のゴムベルトの下を通してください。

リュックサック状態では、給水キャメルバッグをリュックサックの中へ入れておいて、左右の肩ベルト上端の間にある専用の取り出し口からホースを出してください。



3. 4 タンデム

ワニライト2は、タンデムフライトのパッセンジャー用に使用することができます。

3. 5 水上でのフライト

ワニライト2を水面の上でのフライトに使用することはお勧めできません。もし着水せざるを得なくなった場合、空気の充満したエアバッグプロテクションによって、パイロットが水中へ沈められてしまう恐れがあります。水上を飛ぶ可能性がある場合は、適切なライフジャケットを使用してください。

3. 6 トーイング

ワニライト2はトーイングでの離陸に用いる事が出来ます。トーイングブライダルのリリースは必ず、カラビナに直接かけてカラビナの開閉ゲートがリリースとは逆の後ろ側を向いているようにしてください。詳細はトーイングリリース機材に付属の説明書を読むか各人のフライトエリアにいるトーイングの資格を持ったインストラクターにお聞きください。

3. 7 ランディング

ランディングの前に座板から足をずらせて出して立ち上がり、スタンディングポジションをとっておきます。決して座った姿勢では着陸しないで下さい。高レベルのパッシブプロテクションとなるエアバッグバックプロテクションや背中のフォームプロテクションを装備していたとしても、これはパイロットの背骨にとってとても危険なことです。ランディング前に確実にスタンディングポジションをとっておくことは、アクティブセーフティーの事前準備であり、事故が発生してからの受身のパッシブプロテクションに比べてはるかに有効です。

3. 8 ハーネスの廃棄

パラグライダーハーネスに使用されている素材には、正しい廃棄方法が求められています。一般ゴミとして廃棄せず、地域の規則に沿った廃棄を行ってください。

3. 9 自然環境における活動への注意

スカイスポーツ活動において環境に配慮しましょう。勝手に許可されていない場所に立ち入ったり、ゴミで自然を汚したり、騒音を出したりしないよう、注意しましょう。

4. ハーネスの収納・パラグライダーの入れ方・リュックサックの使用

ハーネス状態からバックパック状態への変換は、まず背中コンテナのジッパーを完全に開き、背中コンテナ内にあるバックパック部分を大きく広げます。全体を上下逆にひっくり返し、座板をハーネスの背中部分へ向かって折りたたみ、その間にベルト類やバックル類を挟んでおきます。背中コンテナの後ろ側をこの上にかけて、赤いバックルで固定します。たたんであるパラグライダーをハーネスのエアバッグ部の上へ乗せます。



ハーネスの背中コンテナのカバー部分の上にパラグライダーを置き、リュックサックのジッパーを閉じます。リュックサックを押しつぶして、パラグライダーやエアバッグの中の空気を抜くと、ジッパーが楽に閉められます。



リュックサック上部には、ヘルメットや計器、衣類などなどの十分な収納スペースが残るはずですが。

リュックサック状態からハーネス状態への変換も、ちょうどこの逆の手順で行い、リュックサック部がハーネスの背中コンテナ内に入るようにして下さい。

5. 特徴とオプション装備の取り付け

5. 1 スピードシステムの取り付けと調整

アクセレーターの調整は、ハーネスを最適なシッティングポジションに調整できてから行ないます。このハーネスは通常タイプのスピードシステムアクセレーターなら全て装着可能です。

座板の前にはスピードバーを保持するゴムヒモがあり、緊急パラシュート開傘時に緊急パラシュートハンドルがスピードシステムに絡むのを防いでいます。スピードバーのラインはまず座板の前のゴムヒモに付いているリングの中を通し、座板の前の角の近くにあるハトメ穴からハーネスの中に入り、そこから座板の後ろの角の近くにあるプーリーを通して上へ伸ばしておきます。スピードバーの調整を正確に行うには、シミュレーターにぶら下がってパラグライダーのライザーを接続し、他の人にライザーを持ち上げてもらって、スピードバーのラインの長さを調整してください。足を離れたときにフットレストがハーネス前部の下10cm以内にくるようにしてください。ヒモを短くし過ぎるとスピードシステムが常に引かれた状態になり、意図しないで飛行中に常にスピードシステムが作動してしまう恐れがあります。はじめのフライトではスピードバーをやや長めにしておいてフライトごとに少しずつ短くしていくのが安全です。また、調整の際は、左右均等に行うよう注意してください。

テイクオフで走る際にスピードバーを留めておくことができるよう、ハトメ穴からバンジーコードが出ていてスピードバーを引き込んでいます。



5. 2 リラックスバー

すでに標準でリラックスバーが装着されているハーネスモデル以外にも、全てのウッディーバレー社製ハーネスにリラックスバーを後付け装備することが出来ます。リラックスバーがあれば、パイロットは脚を伸ばした状態で足をサポートに乗せてくつろぐことが出来ます。この飛行姿勢は昔からの脚を垂らしておく姿勢よりもずっと楽と思うパイロットも多いです。リラックスバーの取付けは、リラックスバー付属の取り扱い説明書をご覧ください。

5. 3 クイックリリースカラビナ

ワニライト2はクイックリリースカラビナを使用することが出来ます。正しい取り付け方については、クイックリリースカラビナ付属の使用説明書を参照してください。



6. メンテナンスと修理

衝撃が加わったとき、着陸あるいは離陸に失敗したとき、あるいは損傷や顕著な消耗が見受けられたときは、ハーネスを点検してください。また、ハーネスは2年に1度、販売者に点検してもらうことと、2年に1度メインカラビナを交換することをお勧めします。

ハーネスの不要な損耗・劣化を防ぐために、地面や石、ザラザラした場所でハーネスを引きずる事は極力避けてください。本来のフライト活動以外に紫外線（直射日光）が不必要に当たらないようにしてください。できるだけ湿気や高温からハーネスを守ってあげてください。

パラグライダー機材は、涼しく乾燥した場所で保管し、濡れたり湿気を含んだままで放置しないで下さい。ハーネスはできるだけキレイに保ち、定期的にプラスチックブラシや絞った雑巾で土を落として下さい。汚れがひどい場合は、中性洗剤と水で洗い、直射日光を避けて風通しの良い場所で自然乾燥させて下さい。ジッパーは常に清潔に保ち、定期的に乾式シリコンスプレーで潤滑を保ってください。

もし緊急パラシュートが濡れた場合（着水など）は、必ずハーネスから取り出して乾燥させ、リパックしてからハーネスコンテナに収納しなおしてください。

ハーネスの修理や部品交換は、パイロットが行ってはならず、ウッディーバレー社またはウッディーバレー社が認定した専門家のみが作業いたします。ウッディーバレー社またはウッディーバレー社が認定した専門家だけが、認定どおりの製品の正しい機能を保つことの出来る素材と技術を持っているのです。

メンテナンス作業の要望でウッディーバレー社またはウッディーバレー社が認定した専門家へご連絡、発送いただく場合は、リアポケット内の銀色のラベルに記載されている識別番号を全桁、お知らせください。高性能で軽量なハーネスを実現するために、ワニライト2では高級な素材を使用していますが、標準的なハーネスよりも軽量な素材を使用していますので、ワニライト2の使用・収納の際は、常に細心の注意をお願いいたします。正しい使用によってハーネスは長持ちします。

皆様が、ワニライト2によって素晴らしいフライトを楽しまれることを願います！

7. テクニカルデータ

座板からカラビナまでの距離	S: 43 cm	M: 45 cm	L: 47 cm	XL: 48.5cm
カラビナ間の距離(最小～最大)	S: 36-47 cm	M: 36-48 cm	L: 36-49cm	XL: 36-49.5cm
ポリプロピレン製座板のサイズ (S)	後辺 33 x 前辺 30.5 x 前後 34.7 cm			
ポリプロピレン製座板のサイズ (M)	後辺 35 x 前辺 32 x 前後 36.5 cm			
ポリプロピレン製座板のサイズ (L)	後辺 37 x 前辺 34 x 前後 38.5 cm			
ポリプロピレン製座板のサイズ (XL)	後辺 38 x 前辺 34.5 x 前後 39.5 cm			
カラビナ、パラシュートハンドル含む本体重量:	S: 2.6 Kg	M: 2.75 Kg	L: 2.9 Kg	XL: 3.2 Kg
プロテクション形式	エアバッグ			
脚ベルト方式	Get-up			
緊急パラシュートコンテナ	座板の下に側方開放型コンテナ			
荷重限界	120 daN			

